

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103458
法人名	株式会社ケアジャパン
事業所名	グループホーム ハッピー
所在地	松山市中央1丁目17番35号
自己評価作成日	平成25年10月7日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成27年11月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

「あなたらしい生活を応援します」を運営理念とし、地域に根差したホームづくりに努め、可能な限り自分らしく自立した暮らしを守っていきたいと思います。 皆様に日々の生活を楽しく、家庭的な雰囲気の中で利用者一人一人の個性、生活リズムを大切に生活して頂けるように応援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

●市街地のビル2階に位置する事業所で、地域とのつきあいについて難しさがあるため、理念に掲げて取り組みをすすめてきた。近隣のスーパーへは、毎日利用者と食材の買い物に行き、顔見知りになっている。近くの他事業所のお祭りに参加したり、運営推進会議時、地域行事の日時を教えてもらい積極的に参加している。公園で行う地域のお花見、中学校で行う地域の夏祭りの盆踊り見物、小学校である「しみず祭り」では、事業所用に席を準備してくれる。秋祭りには、町内会の子供みこしの訪問がある。 ●調査訪問日の食事時、職員は笑顔で丁寧な言葉遣いで声をかけていた。洗濯物たたみや居室、廊下のモップ掛け、包丁を使って果物や野菜の皮むき等、個々の力を活かす場面作りにも努めている。お茶の時間は、コーヒーやぐず湯、生姜湯等、季節によって数種類の飲物を準備したり、着替えの際には複数の衣類を見せてご本人が選択できるよう支援している。職員が決める場合は、ご本人の表情を見て満足度を確かめるようにしている。
--

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目：11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名

グループホームハッピー

(ユニット名)

ハッピー I

記入者(管理者)

氏 名

柿田 理世

評価完了日

平成27年10月 7日

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
Ⅰ.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価)	
			何時でも見えるところに理念を指示し、パンフレットにも記載 しています。理念の実現に向けて職員全員で話し合い理解 するようにしています。	
			(外部評価)	
			職員で話し合い「あなたらしい生活を応援します」「地域に根 ざしたホームづくり」と理念を作っており、ユニットの入り口等 に掲示している。管理者は、認知症や尊厳について等の研 修時や日々のケアの中で個別支援の大切さを話して、職員 が理念を理解しながら実践できるよう導いている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価)	
			地域の行事に出来るだけ参加しています。他施設の行事 や、町内会のお花見、生きがい交流センター清水(清水小 学校)、勝山フェスティバル(勝山中学)等。	
			(外部評価)	
			市街地のビル2階に位置する事業所で、地域とのつきあい について難しさがあるため理念に掲げて取り組みをすすめ てきた。近隣のスーパーへは、毎日利用者と食材の買い物 に行き、顔見知りになっている。近くの他事業所のお祭りに 参加したり、運営推進会議時、地域行事の日時を教えてもら い積極的に参加している。公園で行う地域のお花見、中学 校で行う地域の夏祭りの盆踊り見物、小学校である「しみず 祭り」では、事業所用に席を準備してくれる。秋祭りには、町 内会の子供みこしの訪問がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価)	
			町内会長さん等に話させて頂いて、認知症や介護保険につ いて話し合いや相談が出来る取組みを相談しています。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議に様々な立場の方に参加して頂き(松山市役所等)又、参加して下さる家族様が増え意見や質問など積極的に発言して下さっています。	
			(外部評価) 会議は、民生委員2名とご家族2～7名の参加がある。ご家族の都合を聞いて日程を決めたり、敬老会や年2回行う家族会と併せて会議を行い、ご家族の参加につなげている。会議では、行事や取り組み、利用者の普段の様子、又、医療連携の現状等を報告して意見をうかがっている。さらに、会議テーマによっては、利用者や職員も参加して、意見を聞いたり取り組みについて発表するような機会も作ってはどうか。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 松山市のグループホーム連絡会に参加しています。その時に参加して頂いた方々が今でもボランティアで来て下さって、トーンチャンネルやフラダンスなどをして下さっています。	
			(外部評価) 運営推進会議時、ご家族等から介護認定や変更申請等、介護保険に関する質問があれば、市の担当者に説明してもらっている。又、会議時、市の担当者から季節の感染症や食中毒の予防対策についてアドバイスがある。5年間続いた介護相談員3名の方の訪問が3月で終了になったが、その後もフラダンスやトーンチャイムのボランティアとして関わってくれている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束の研修を受けたり、マニュアルを事務所に設置し、制度について理解出来るように努力しています。 ※年間研修計画の中に身体拘束の禁止を取り入れています。	
			(外部評価) ユニットの出入り口は、開閉時に音楽が流れるようになっている。ソワソワしている利用者には、気を紛らすような声掛けをして見守るようにしている。居室でセンサーマットを使用している方が数名ある。身体拘束の研修時には、事例を挙げて勉強をしている。行動を制限するような言葉遣いについてもミーティング時に話し合うようにしている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 職員は研修に参加しています。ミーティング時に話し合いをしています。言葉使い等利用者の方への対応態度に気を付けています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 過去に成年後見制度が利用出来るよう支援しました。制度について理解出来るよう努力しています。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に十分な説明をしています。一か月以上の入院になり、グループホームに帰ってこられない状況の場合は退去となる旨の説明をしています。医療行為が出来ない説明をしています。 ※利用料等の改定の際は、文書で事前に説明しています。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議、家族会の案内を出して家族様の参加機会を作り、ご意見を頂戴して運営に役立てています。 (外部評価) 利用者の日々の状況については、個々の担当職員が月1回、手紙に書き写真を添えてご家族に報告している。季刊誌「ひなたぼっこ通信」は、外出時や取り組みの写真を多く載せてコメントを付けユニット別に作成している。新しい利用者や職員があれば、顔写真にコメントを添えて通信で紹介している。ご家族からトイレ誘導時の声かけについて「皆の前で『トイレに』と言うのはいかがなものか」との意見があった。職員で話し合い、ユニットによっては、トイレに花の名前を付けて「百合の花を摘みに行きましょう」等と誘導をしている。外出行事のある時には、ご家族の来訪時に誘っており、今度、大洲までドライブする時には、ご家族が初めて参加されるようだ。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月1回の定例の介護事業部会議を開催し、職員の声を聞く機会を設けています。	
			(外部評価) 月1回のミーティングはユニット別に行い、利用者のケアや外出先等について話し合ったり、勉強会を行っている。県外から飛行機で来るご家族は、滞在時間が短くなるが、職員からの提案で、利用者のご家族と一緒に過ごす時間が少しでも長くなるよう、空港まで送迎して支援している。途中で、足湯に寄ったりすることもある。空港では利用者が「おかえり」と迎え、ご家族の面会数が増えている。	職員の中には「認知症のことをもっと勉強したい」「介護保険の制度についてもっと知りたい」と話す方もある。職員の意欲をサポートして、さらなる事業所サービスの質向上につなげていかれてほしい。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 職員に長く勤めて頂くためにリフレッシュ休暇制度を設けて心身ともにリフレッシュする機会を作っています。えひめ子育て応援企業として、認定を受けています。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修等には積極的に参加出来る様に図っています。研修内容は報告書にまとめミーティング等で話しています。月に1回ミーティング時に社内研修を行っています。 ※職員全員が、年間の個別研修計画を作成し、計画的な研修をして資質向上に努めています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 他事業所の行事(花祭り等)に入居者や職員が参加しています。見学者等の受入れも積極的に行っています。研修等にも参加しています。	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) ご本人の話を傾聴するように努めています。その日の体調や状態に応じた生活を送られるように支援しています。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が 困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾け ながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入居時にご本人とご家族から十分な聞き取りをし、アセスメント シートに記録しています。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族 等が「その時」まず必要としている支援を見極 め、他のサービス利用も含めた対応に努めてい る	(自己評価) 家族やご本人の相談内容に応じて他サービスや居宅サービ スと連絡や調整を行うようにしています。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におか ず、暮らしを共にする者同士の関係を築いてい る	(自己評価) 相手を尊重した言葉使いや視線を合わせた対応に心掛けし ています。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におか ず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本 人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 何時でも連絡できる関係作りに努めています。日頃の様子 が分かるように月に一度はお手紙や写真を送っています。 何かあった時には、小まめな連絡に気を付けています。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場 所との関係が途切れないよう、支援に努めてい る	(自己評価) 馴染みの物の持ち込みや、何時でも来て頂けるようにオー プンな環境作りをしています。個別ケアの取組で、個々の馴染 みの場所へお連れしています。 (外部評価) ご本人の元職場であるパン屋で、奥様のお好きなパンを 買って、奥様の居る施設に会いに行けるよう支援している事 例がある。県外からご家族が来られた時には、居室で一泊 し、お墓参りには職員も同行して支援した。管理者は、「利用 者は自宅に帰りたいという思いを持っており、以前の生活圏 をドライブしたり、できれば自宅訪問をしたい」と話していた。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 入居者様同士が交流を図ることが出来るような外出や催しを行っています。リビングのソファ等と一緒にテレビを見たり、おやつを食べたりしています。入居者様同士の関係を把握し、必要に応じて職員が間に入って良好な関係を築くことが出来るように努めています。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所後新たな施設に入所する場合は、ご家族や本人の希望をお伺いし適切な所をお手伝いをすると共に情報提供をスムーズな移動が出来るように配慮しています。	
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 入居者の表情や会話から思いを汲み取るように、或いは家族と相談できる関係作りに気を付けています。 (外部評価) 事業所独自の「アセスメント表」を用いて、食事や入浴、排泄、日中の活動等の項目別にご本人の現状や希望、職員の気付き等を記入し、情報の収集に取り組んでいる。毎年4月に更新する仕組みを作っており、月ごとに状況や新情報を記入するようになっている。利用者個別に「24時間個別介護計画書」や「介護サービス手順書」を作成し、個々の生活リズムの把握やケアの統一に取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人との会話、家族からの聞き取りや情報収集に努めています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日々の生活の中で気付いた事は記録や申し送りをし、ミーティングで情報の共有を図っています。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			日頃の係りの中で話し合いをし、問題点はケアカンファレンスで話し合い、介護計画を作成しています。	
			(外部評価)	
			介護計画は、「ご家族と特にご本人の希望を引き出し反映する」「ご本人の現状に合っているか」に留意して作成しており、職員で話し合ってから計画作成担当者がまとめている。毎月、職員で個々のケアについて話し合い、6ヶ月毎に評価して見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			生活記録、水分、排泄、個人記録等毎日記入し、大切なこと、変化があったこと等はケアカンファレンスファイルに記入し、職員間で情報を共有しながら、実践や介護計画の見直しに活かしています。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			家族の状況に合わせて通院介助や体調不良時の付添いを行っています。又、同じビル内にデイサービスがあり、催しものによっては参加しています。個々の入居者様や家族様のニーズに合わせて、個別の外出等も行っている。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			地域の人にボランティアに来て下さったり、お祭りに呼んで頂いたり、地域との交流は続けています。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 個々のかかりつけ医が決まってい情報提供と連携を図っています。 ※訪問診療医と契約されている利用者様については、365日24時間の連携がとれる体制ができています。	
			(外部評価) 現在、1名の方が入居以前からのかかりつけ医に、ご家族が付き添って受診している。他利用者は、協力医療機関の訪問診療医を受けている。往診の結果等は、必要に応じてかかりつけ医からご家族に報告してくれるようになっている。週1回、法人の看護師資格を持つ職員の訪問があり、利用者の健康管理やアドバイスをしてくれる。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 訪問診療の医師が来所した際に、普段の状況や気づいたこと等の情報を伝えています。又、利用者に何らかの変化があれば、その都度電話で医師に相談しています ※平成27年10月からは、看護師を配置し、週1回の健康管理ができる体制をつくり、更に、質の向上を図っています。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 定期的なお見舞いや聞取り確認を行っています。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 家族様、かかりつけ医と連絡・話し合いながら看取りの要望があった場合「看取りの指針」を説明し、出来る限りの対応が出来るよう取り組んでいます。	
			(外部評価) この1年間に、2名の利用者の看取りを支援をした事例がある。管理者は、ご家族に「ご本人とご家族のために場所と目を提供し、看取りのお手伝いをさせていただく」ことを伝えている。今夏、看取り支援した事例では、ご家族は毎日利用者に会いに来られて付き添いして、ともに看取った。他利用者の方達もそばに来て、話しかけたり手を握ったりした。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) マニュアルを作成しています。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年2回の消防訓練に参加し体験や説明を受けています。マニュアルを整備し、いつでも見られるようにしています。職員、家族、他地域の方と一緒に消防署の人の話を伺い、地域の訓練にも参加したいと思います。 (外部評価) 同じ建物内にある併設デイサービスと合同で、出火場所を変更しながら実施している。職員が利用者役になり、防火扉の向こう側まで避難した。現在、車イスの利用者が多く、防火扉の向こう側は階段でもあり、管理者は全員が安全に避難できる方法を模索中である。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 個人の尊厳を念頭に入れ、気持ちの良い対応を心掛けるようにしています。個人情報の取扱いについては特に気を付けています。 (外部評価) 調査訪問日の食事時、職員は笑顔で丁寧な言葉遣いで声をかけていた。洗濯物たたみや居室、廊下のモップ掛け、包丁を使って果物や野菜の皮むき等、個々の力を活かす場面作りにも努めている。お茶の時間は、コーヒーやくず湯、生姜湯等、季節によって数種類の飲物を準備したり、着替えの際には複数の衣類を見せてご本人が選択できるよう支援している。職員が決める場合は、ご本人の表情を見て満足度を確かめるようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) ご利用者様やご家族様の希望を聞き、個別の外出を行っています。買い物の際、食事やおやつで食べたい物を聞いて選んで頂いています。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 入居者一人にひとりの生活リズムを把握し、出来るだけ個々 の生活に沿った対応を心掛けています。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう に支援している	(自己評価) 気持ちよく過ごして頂けるように服装に気を付けています。 外出先に合わせた装いを相談して決めています。散髪は本 人の希望や時期に合わせています。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) その日のメニューをご利用者と一緒に決めて、一緒に調理し たり、味見をして頂いたりして楽しんで頂けるようにしていま す。 (外部評価) 週3日、昼食のおかずのみ業者から届くようになっている。その他の 食事は、ユニット別にその日の担当者が利用者と一緒に毎日近くの スーパーに買い物に行き、利用者の意見を聞きながら献立を決め て調理している。調査訪問日の昼食はちらし寿司で、職員は利用者 と一緒に同じものを食べながら「昔は、ちらし寿司を作りましたか？」と 話しかけると、利用者同士の会話も弾み、お好きな具材を知る機会 にもなっていた。職員がスプーンで介助するような場合でも、ご本人 に箸を持ってもらう等しており、好物があると少し手が動くこともある ようだ。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) チェック表を記入して、水分量、食事量の把握をしていま す。多くの食材を使ったり料理を作るようにしています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 個々に応じた食事の口腔ケアを実施しています。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			排泄チェック表で参考にしながら出来るだけトイレでの排泄に気を付けています。さりげない声かけでトイレ誘導します。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(外部評価)	
			重度の方は職員2人で介助をして、日中は利用者全員がトイレで排泄できるよう支援している。便器には、姿勢保持のための背もたれとアームレストが取り付けられていた。トイレは3ヶ所あり、それぞれに「百合」「薔薇」「蘭」と名前を付けイラストを貼って目印にしている。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			入居者の状態に合わせて、一般浴槽もしくは特殊浴槽にて入浴して頂いています。ただ、特殊浴槽を他の部署と共同で使用している事もあり、曜日や時間帯については固定になっています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(外部評価)	
			利用者の希望に応じて個々に週2～5回程支援している。利用者の状態によって併設デイサービスの機械浴を利用しており、全員が浴槽で温まることができるよう支援している。一番風呂のさら湯を嫌う方や女性利用者の中には、自宅での長年の習慣からみんなが入ったあとを希望する方もある。	
			(自己評価)	
			生活リズムを整え、日中は出来るだけ離床を促し、夜間熟睡出来るようにしていますが、その時の様子で休息して頂いています。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個人ファイルに服薬している薬の一覧表をファイルし、職員全員が把握できるようにしています。薬の変更があった時は申し送り、カンファレンスノートに記入、伝達漏れのないようにしています。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) ホーム内で出来ること(配膳、洗濯物干しや洗濯物たたみ、買物など)	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 毎日の買い物は入居者と一緒に掛けています。また、近所を散歩するなど日頃から外に出る機会を作るよう心掛けています。月に2回は入居者の希望も取入れつつ、遠出もしています。 (外部評価) 外出行事は、ユニット別に計画しており、ユニットの利用者全員が参加できるよう支援している。お正月には椿神社へ初詣に行き、季節に応じて花見物やぶどう狩り、動物園に出かけたり、中山町クラフトの里ではそば打ち体験、松野町おさかな館ではペンギンの散歩を楽しんだ。いちご狩りでは、事前に下見して園の方と相談してミキサーを持参させてもらい、皆が新鮮ないちごを味わえるよう工夫した。利用者からの希望で松山城に登ったり、温泉の足湯にも出かけた。外食や買い物で近隣の大型スーパーにも出かけている。ユニットリーダーは「今後は、ご家族と一緒に外出する機会を作りたい」と話していた。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 出来る方は自分で管理されています。外出時や買物に同行してお金を使えるよう支援しています。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 入居者様の自由にしてもらってます。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			季節に合わせた飾り付けをし、換気や温度調整に気を付けています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(外部評価)	
			ユニットにより利用定員と間取りに違いがある。食堂と居間が分かれているユニットは、居間にあるテレビの前にソファを配置しており、昼食後は、ソファでテレビを見たり、テーブル席でくつろぐ方が様子が見られた。廊下の壁面には、外出やイベント時の写真を月別に掲示しており、毎月貼り替えている。脱衣場や食堂にあえて段差を設け、生活の中でリハビリができるようにしてある。観葉植物を配しているユニットがある。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			入居者がホームに持込まれた好きな物や使い込まれた物、ホームで撮った写真などを飾って、居心地の良い空間になるよう工夫しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(外部評価)	
			居室の入り口には、利用者の目の高さに木製の表札を掛けている。ドアにはご本人の誕生日会の写真を飾り、毎年貼り替えている。使い慣れたダンスを持ち込んだり、ご家族や孫の写真を飾っている方もいる。ご家族がカレンダーに次の面会予定日に○印を付けているところもあった。お好きな本を持ち込み読む方や、テレビを持ち込み夜間ベッドで休みながら楽しむ方もある。ご本人が不在時は、居室の窓を開けて換気している。	
55			(自己評価)	
			トイレの場所や道順が分かるように表示しています。ホーム内が煩雑にならない様に整理・整頓に気を付けています。	